

教科名	総合的な学習	科目名	探究	履修学年	中学・高校	1年A～E組		
単位数	1単位	使用教科書 補助教材等	教科書なし					
担当者	A B組 田畑 C D E組 白岳		独自の教材を作成、使用する					
学習目標	「チャレンジ精神旺盛な自立した人間」「5つの力を有する人材」に必要な探究力・課題解決能力の育成を目標とする。 中学3年次においては、とくに「気づく（自分なりの答えを出す）」「探究サイクルを回し新たな課題を導き出す」 「探究の成果をまとめて発表する」を目標とする。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識と技能を身に付け、課題に係わる概念を形成し、探究的な学習の必要性・重要性を理解できている。		実社会や実生活の中から論題（問い）を見つけ出し、自ら課題を設定して、情報を収集し、整理、分析して、まとめ・表現している。		探究的な学習に主体的・協働的に取り組みつつ、自らの将来について考えとともに、積極的に社会に参画しようとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	授業内ワークシート レポート 研究発表		授業内ワークシート レポート 研究発表		授業内ワークシート（自己評価シート）等 グループディスカッション プレゼンテーション 授業態度			
学期末の 各観点比率（%）	50%		30%		20%			
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	学習内容①		学習内容②		1	1 学期 評価	
	5	① 授業ガイダンス 探究ってなんだろう？		探究を体験する（問いの立て方の導入）		1		
		② グループディスカッション		話し合いの練習（NASAゲーム）		1		
	6	③ 相手の話をまとめるには？		再話トレーニング		1		
		④ 相手の話をまとめるには？		再話トレーニング		1		
		⑤ 身近なテーマから問いを立ててみよう		問いを立てる練習（テーマ例：制服・小学校と中学校）		1		
⑥ 課題の設定 ～理想の学校を考える～		課題設定・原因の考察		1				
7	⑦ 課題の設定 ～理想の学校を考える～		グループディスカッション（情報共有と考察）		1			
	⑧ 発表 ～理想の学校～		プレゼンテーション		1			
8	⑨ 発表 ～理想の学校～		プレゼンテーション		1			
	⑩ ミニフィールドワークをしよう		校内フィールドワーク 問いの設定		1			
	⑪ 夏期課題「ご近所マップ」の作り方		情報収集と分析（フィールドワークの進め方）		1			
		地域探究「よりよい街をつくるには」		フィールドワーク実施 地域の課題を設定、原因を追究し、解決策を考察。		11時間		
2	9	⑫ 夏期課題の修正・提出・振り返り				1	2 学期 評価	
	10	⑬ 情報を分析する		言語技術（絵の分析）		1		
		⑭ 情報を分析する		言語技術（絵の分析）		1		
	11	⑮ 情報伝達の方法		言語技術（国旗の説明）		1		
		⑯ 情報伝達の方法		言語技術（国旗の説明）		1		
		⑰ 情報伝達の方法		道案内		1		
⑱ 情報伝達の方法		道案内		1				
12	⑲ 論理トレーニング		物語をつくる		1			
	⑳ 論理トレーニング		物語をつくる		1			
3	1	㉓ 小金井を探究 ～地域を知る～		情報収集と分析		1	3 学期 評価	
	2	㉔ 小金井を探究 ～原因をさぐる～		情報収集と分析		1		
		㉕ 小金井を探究 ～問題をさぐる～		情報収集と分析		1		
	3	㉖ 小金井を探究 ～課題を知る～		論理的に考察する		1		
		㉗ 小金井を探究 ～解決策を考える～		論理的に考察する		1		
			㉘ 小金井を探究 ～グループ発表～		プレゼンテーション			
		※上記の学習内容については、生徒の状態に応じて適宜変更を加えるものとする （学期乃至は月単位で見直すものとする）				6時間		

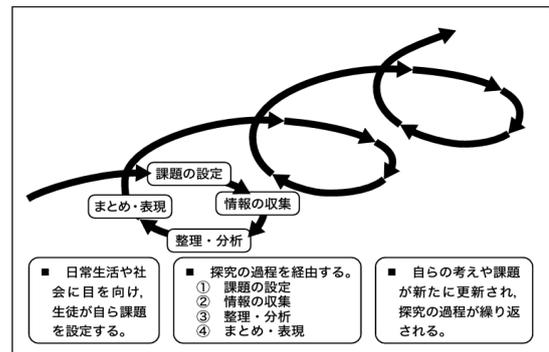
教科名	総合的な学習	科目名	探究	履修学年	中学・高校	1年A～E組				
単位数	1単位	使用教科書 補助教材等	教科書なし							
担当者	A B組 田畑 C D E組 白岳		独自の教材を作成、使用する							
学習目標	「チャレンジ精神旺盛な自立した人間」「5つの力を有する人材」に必要な探究力・課題解決能力の育成を目標とする。 中学3年次においては、とくに「気づく（自分なりの答えを出す）」「探究サイクルを回し新たな課題を導き出す」 「探究の成果をまとめて発表する」を目標とする。									
評価方法										
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢					
評価規準	探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識と技能を身に付け、課題に係わる概念を形成し、探究的な学習の必要性・重要性を理解できている。		実社会や実生活の中から論題（問い）を見つけ出し、自ら課題を設定して、情報を収集し、整理、分析して、まとめ・表現している。		探究的な学習に主体的・協働的に取り組みつつ、自らの将来について考えとともに、積極的に社会に参画しようとしている。					
各観点の授業内 評価方法等	授業内ワークシート レポート 研究発表		授業内ワークシート レポート 研究発表		授業内ワークシート（自己評価シート）等 グループディスカッション プレゼンテーション 授業態度					
学期末の 各観点比率（%）	50%		30%		20%					
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分 1	評価区分 2		
1	4	学習内容①		学習内容②		1	1 学期 評価			
	5	① 授業ガイダンス 探究ってなんだろう？		探究を体験する（問いの立て方の導入）		1				
		② 話し合いのルールを確認		話し合いの練習（NASAゲーム）		1				
	6	③ インタビューのしかた 動画視聴：プロのプロセス「インタビューのしかた」		質問力を鍛える①		1				
		④ インタビューのしかた クローズド・クエスチョンとオープンクエスチョン		質問力を鍛える②		1				
		⑤ 課題の見つけ方 動画視聴：プロのプロセス「課題の見つけた方」		課題設定の練習（ロジックツリー）		1				
	7	⑥ グループ探究 東京電機大学中学校をアピールしようプロジェクト		課題の設定		1				
⑦ グループ探究 東京電機大学中学校をアピールしようプロジェクト		課題の設定・情報の収集		1						
8	⑧ グループ探究 東京電機大学中学校をアピールしようプロジェクト		課題の設定・情報の整理		1					
	⑨ グループ探究 東京電機大学中学校をアピールしようプロジェクト		情報の整理・まとめ		1					
		⑩ グループ探究 代表発表		発表（表現）と評価		1				
		⑪ 夏期課題 「自分の街の問題を見つけ、それを解決しよう」		個人探究 探究サイクルを一人で回す		1				
		課題「自分の街の問題点を取り上げ、自分ができる解決策を考える。」 課題設定→情報の収集→情報の整理・分析→表現 の探究サイクルを自ら回す。				11時間				
2	9	⑫ 夏期探究課題の発表と評価		課題の発表・評価		1	2 学期 評価			
		⑬ 広い視野を持つ		一つのキーワードから関連ワードを広げる		1				
	10	⑭ グループ探究 ディベート		ディベートテーマは以下4つ。 ①日本は中学生以下のスマートフォンなどの使用を禁止すべきである。是が非か。 ②日本は救急車の利用を有料化すべきである。是が非か。 ③日本は飲食店にドギーバッグの常備を義務付けるべきである。是が非か。 ④日本は自転車利用者のヘルメット着用を努力義務から義務にすべきである。是が非か。		①日本は中学生以下のスマートフォンなどの使用を禁止すべきである。是が非か。 ②日本は救急車の利用を有料化すべきである。是が非か。 ③日本は飲食店にドギーバッグの常備を義務付けるべきである。是が非か。 ④日本は自転車利用者のヘルメット着用を努力義務から義務にすべきである。是が非か。			1	
		⑮ グループ探究 ディベート		クラスごとにテーマを選び、クラスを是が非かに二分。グループ探究を展開。立論するために課題（問い）を設定、情報を収集し、整理・分析。最後はディベートを実施し、発表（表現）を行う。		1				
		⑯ グループ探究 ディベート				1				
	11	⑰ グループ探究 ディベート				1				
⑱ グループ探究 ディベート				1						
12	⑲ グループ探究 ディベート 発表				1					
		冬期課題「2学期にクラスで取り組んだディベートのテーマについて、二人以上の大人にインタビューをする。」 2学期実施のディベートを3学期では個人探究としてレポート作成を実施する。そのため情報収集を課題とする。				10時間				
3	1	⑳ 課題の設定 ディベートテーマをもとに立論する		冬期課題の結果共有 ディベートの立論をする		1	3 学期 評価			
		㉑ レポート作成について データにもとづく根拠の提示		情報の整理・まとめ		1				
	2	㉒ レポート作成		情報の整理・まとめ 表現		1				
		㉓ レポート作成（中間提出の添削をもとに修正）		情報の整理・まとめ 表現		1				
		㉔ レポート作成・最終稿の提出		情報の整理・まとめ 表現		1				
3	㉕ 1年間の振り返り		まとめ・表現		1					
						6時間				

学習指導要領「総合的な探究の時間」より

■ 総合的な探究の時間の目標「探究の見方・考え方」の趣旨

生徒は、①日常生活や社会に目を向けた時に湧き上がってくる疑問や関心に基づいて、**自ら課題を見付け**、②そこにある具体的な問題について**情報を収集**し、③その情報を**整理・分析**したり、考えを出し合ったりしながら問題の解決に取り組み、④明らかになった考えや意見などを**まとめ・表現**し、そこからまた**新たな課題を見付け**、更なる問題の解決を始めるといった学習活動を発展的に繰り返していく。要するに探究とは、物事の本質を自己との関わりで探り見極めようとする一連の知的営みのことである。

探究における生徒の学習の姿



■ 各学校において定める目標

各学校において定める総合的な探究の時間の目標は、第1の目標を適切に踏まえて、この時間全体を通して各学校が育てないと願う生徒の姿や育成を目指す資質・能力、学習活動の在り方などを表現したものになることが求められる。

→つまり何をしなければいけないかは決まっていない。そのためどのような生徒を育てたいかを各学校が考え、探究の時間に何をやるかも各学校の裁量で決定することができる。よって本校の中学探究でも、毎年科目担当者が試行錯誤しながら授業案を作成している。

本校の探究で育む5つの力

【**視野の広さ**】物事を多角的な視点によって捉えると同時に、自己を客観的に分析し、その価値を見出す力

【**冒険心**】リスクを恐れず、一歩踏み出す勇気をもって、積極的に物事にチャレンジしようとする力

【**向上心**】さらなる成長を目指して目標を設定し、その達成のために粘り強く努力しようとする力

【**共感**】他者への理解を深め、お互いに認め合い、個々のもっている能力を積極的に活かそうとする力

【**専門性**】自己の適性を見定め、その分野についての知識・技能をみずから習得し、深化させようとする力

2023年度 中1 探究について

1 学期 グループ探究「東京電機大学中学校をアピールする」

学校をテーマに自分ができること、したいことを考えさせる。自己とのつながりという視点から学校をテーマにした。何ができるか考える＝「課題を見つける」、課題を見つけるため現状の学校をよく考える＝「情報の収集」、収集したことを発表するために整理する＝「情報の整理・分析」、発表スライドを作成し、代表班が発表＝「まとめ・表現」。身近なことをテーマに、体験として探究サイクルを1周させた。

2 学期 グループ探究「ディベートを通して探究活動をする」

ディベートをすることで探究サイクルを回すことにした。ディベートは賛成・反対のいずれかの意見に分かれるため主張がわかりやすい。また論理的に説明しなければならないため、十分な時間をかけて根拠を探し、情報の取捨選択を経験することができる。特に「情報の収集と整理・分析」のスキルを重視して実施した。各クラスでテーマを1つ決め、クラスを賛成・反対の2チームに分けて活動。最後は代表者3人によるディベートを実施した。

3 学期 個人探究「2 学期実施のディベートテーマをもとにレポートを作成する」

2 学期に実施したディベートではグループ探究だったため自分の意見が反映されないこともあった。個人でレポートを作成することで、主張に対する客観的かつ明確な根拠の提示を求める。レポート作成をすることで探究サイクルを1周回す。現在活動中。

教科名	総合的な学習	科目名	探究	履修学年	中学・高校	2年A～E組			
単位数	1単位	使用教科書 補助教材等	教科書なし						
担当者	A組:伊藤 C組:高木 D,E組:今福		独自の教材を作成、使用する						
学習目標	「チャレンジ精神旺盛な自立した人間」「5つの力を有する人材」に必要な探究力・課題解決能力の育成を目標とする。 中学2年次においては、「(仮説の伴った)問いを立てる」「情報を収集して整理できるようにする」「フィールドワークの経験を積む」ことを目標とする。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識と技能を身に付け、課題に係わる概念を形成し、探究的な学習の必要性・重要性を理解できている。		実社会や実生活の中から論題(問い)を見つけ出し、自ら課題を設定して、情報を収集し、整理、分析して、まとめ・表現している。		探究的な学習に主体的・協働的に取り組みつつ、自らの将来について考えるとともに、積極的に社会に参画しようとしている。				
各観点の授業内 評価方法等	授業内ワークシート レポート 研究発表		授業内ワークシート レポート 研究発表		授業内ワークシート(自己評価シート)等 授業への参加度 レポートやプレゼンテーションへの計画性				
学期末の 各観点比率(%)	50%		30%		20%				
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2	
1	4	学習内容①		学習内容②		1	1 学期 評価		
		① 授業ガイダンス:1年次の振り返りと今年度の予定 ② 情報の分類とは?				1			
	5	③ バイオメティクスとは?: バイオメティクスとは何かを学ぶ ④ バイオメティクスの調べ学習: バイオメティクスを活用した技術の情 ⑤ バイオメティクスの情報を分類する: 分類方法を学ぶ				1			
		6	⑥ 分類から「見えること」と「疑問に思うこと」 ⑦ 「疑問に思うこと」の深掘りと問い立て ⑧ 夏休みの調査計画立案(1)						1
			⑨ 夏休みの調査計画立案(2) ⑩ 夏休みの調査計画立案(3)						1
	7					1			
8	フィールドワーク①: 夏休み中にグループでフィールドワークを実施する 必ず関係者から聞き取り(インタビュー)を行う 得られた情報をエビデンスノートにまとめて整理する				10時間				
2	9	⑪ フィールドワーク先へのお礼状の下書き ⑫ フィールドワーク先へのお礼状の清書 ⑬ フィールドワークに関する発表(1)				1	2 学期 評価		
		⑭ フィールドワークに関する発表(2) ⑮ 多角的視点による情報収集と分類方法の習得(1) ⑯ 多角的視点による情報収集と分類方法の習得(2)				1			
		⑰ 多角的視点による情報収集と分類方法の習得(3) ⑱ 分類から「見えること」と「疑問に思うこと」 ⑲ 「疑問に思うこと」の深掘りと問い立て(1)				1			
	10	⑳ 「疑問に思うこと」の深掘りと問い立て(2)				1			
						1			
11					1				
12					10時間				
3	1	㉑ アンケートの正しい活用方法(1) ㉒ アンケート結果から課題を発見する(1) ㉓ アンケート結果から課題を発見する(2)				1	3 学期 評価		
		㉔ 目的に沿ったアンケートを作成する(1) ㉕ 目的に沿ったアンケートを作成する(2)				1			
	2	※上記の学習内容については、生徒の状態に応じて適宜変更を加えるものとする (学期ないしは月単位で見直すものとする)				5時間			

教科名	総合的な学習	科目名	探究	履修学年	中学・高校	3年A～E組		
単位数	1単位	使用教科書 補助教材等	教科書なし					
担当者	A組 白岳 B組 平川 D,E組 小林		独自の教材を作成、使用する					
学習目標	「チャレンジ精神旺盛な自立した人間」「5つの力を有する人材」に必要な探究力・課題解決能力の育成を目標とする。 中学3年次においては、とくに「気づく(自分なりの答えを出す)」「探究サイクルを回し新たな課題を導き出す」 「探究の成果をまとめて発表する」を目標とする。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識と技能を身に付け、課題に係わる概念を形成し、探究的な学習の必要性・重要性を理解できている。		実社会や実生活の中から論題(問い)を見つけ出し、自ら課題を設定して、情報を収集し、整理、分析して、まとめ・表現している。		探究的な学習に主体的・協働的に取り組みつつ、自らの将来について考えるとともに、積極的に社会に参画しようとしている。			
各観点の授業内 評価方法等	授業内ワークシート レポート 卒業論文 研究発表		授業内ワークシート レポート 卒業論文 研究発表		授業内ワークシート(自己評価シート)等 グループディスカッション プレゼンテーション 見通しを持った調査姿勢			
学期末の 各観点比率(%)	50%		30%		20%			
授業計画								
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	学習内容①		学習内容②		11時間	1学期評価	
	5	① 授業ガイダンス ② マイテーマ探し① ③ マイテーマ探し② ④ 探究コンペ① ⑤ 探究コンペ②		探究の目的確認 テーマの広げ方・絞り方① テーマの広げ方・絞り方② 探究フレームワーク体験① 探究フレームワーク体験②				
	6	⑥ 探究コンペ③(大学院生メンター協力:5月末以降) ⑦ 探究コンペ④ ⑧ 探究コンペ⑤(大学院生メンター協力)		探究フレームワーク体験③ 探究フレームワーク体験④ 探究フレームワーク体験⑤				
	7	⑨ マイテーマ探し③ ⑩ マイテーマ探し④ ⑪ フィールドワーク計画		情報収集と情報分析③ 情報収集と情報分析④ 夏休みのFWの計画立案				
	8	夏休み中に各自の論文テーマに関する情報収集(文献調査・フィールドワーク・実験・観察等)を行う						
2	9	⑫ 論文の書き方① ⑬ 論文の書き方② ⑭ 論文の書き方③		論文作成のルール・論理的な文章① 論文作成のルール・論理的な文章② 論文作成のルール・論理的な文章③		11時間	2学期評価	
	10	⑮ 卒業論文構成検討① ⑯ 卒業論文構成検討② ⑰ 卒業論文構成検討③		探究マップ活用① 探究マップ活用② 探究マップ活用③				
	11	⑱ 卒業論文執筆① ⑲ 卒業論文執筆② ⑳ 卒業論文執筆③		論文の相互評価① 論文の相互評価② 論文ブラッシュアップのために①				
	12	㉑ 卒業論文執筆④ ㉒ 卒業論文執筆⑤ 冬休み ミニ卒業論文をブラッシュアップしつつ、論文を完成に向けて執筆		論文ブラッシュアップのために② 論文ブラッシュアップのために③				
3	1	㉓ 卒業論文執筆⑥ ㉔ 卒業論文発表準備① ㉕ 卒業論文発表準備② ㉖ 卒業論文発表準備③ ㉗ 卒業論文発表準備④		1月末卒業論文完成品提出		5時間	3学期評価	
	2	生徒同士相互評価						
	3	※上記の学習内容については、生徒の状態に応じて適宜変更を加えるものとする (学期または月単位で見直すものとする)						